



1. これまでの緑に関する主な取組

これまで東京都では、あらゆる機会を通じて緑を創出・保全することで、緑の量的な底上げと質の向上を図り、緑を「増やす」取組を推進する「緑溢れる東京プロジェクト」を進めてきました。

1.1. 「『未来の東京』戦略ビジョン」(令和元年(2019年)12月策定)

東京都は、東京の緑の創出・保全の取組について検討し、令和元年(2019年)12月策定の「『未来の東京』戦略ビジョン」において、「緑溢れる東京プロジェクト」を立ち上げ、都内全体の緑を増やす取組を進めることとしました。

このプロジェクトを強力に推進していくため、局横断的な推進体制として、副知事をリーダーとする「緑溢れる東京プロジェクト推進チーム(以下、推進チーム)」を設置するに至りました。推進チームの具体的な狙いは以下のとおりです。

- ・都の取組推進、区市町村への支援拡充、民間の誘導・規制の強化により、プロジェクトの実行を加速する
- ・具体的な施策・ステップ・スキームなどを詰める実践的な役割を担う
- ・各局連携で主体的に共同しながら、課題解決に向け取り組む

また、本ビジョンを2015年の国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)を実現するビジョンと位置づけ、各推進プロジェクトを、SDGsの目線に立って強力に推進していくこととしました。

1.2. 緑あふれる東京基金(令和2年(2020年)3月)

区市町村は、都民に最も身近な基礎的自治体として、地域における課題やサービス等の需要を把握・分析した上で、創意工夫を凝らしながら、その地域に適した多様な施策を展開しています。緑の保全・創出においても、農地や樹林地等の緑の保全や、公園緑地の整備、民間に対する緑化誘導等による緑の創出、それぞれの取組の主体として役割を担ってきました。

都は、令和2年(2020年)3月、都市における生産緑地、樹林地等の保全や新たな緑の創出などにより、緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京の実現に資する事業に要する資金に充てるため、区市町村による緑の保全・創出の取組等の支援に活用できる緑あふれる東京基金を設置しました。基金の活用にあたっては、都市部を中心とした緑の量の増加及び減少の抑制に資する事業の中で、生産緑地の保全、公園不足地域の解消、貴重な自然を保全する広域的な緑のネットワークの確保等、特に緊急の対応が求められる東京の緑が直面する課題の解決につながる事業に対して優先的に充当しています。

1.3. 「『未来の東京』戦略」(令和3年(2021年)3月策定)

東京都は、令和3年(2021年)3月に、新たな都政の羅針盤として、都の総合計画となる「『未来の東京』戦略」を策定しました。

「『未来の東京』戦略」では、目指す2040年代の東京の姿である「ビジョン」及びこの「ビジョン」を実現する2030年に向けた「戦略」と戦略実行のための「推進プロジェクト」を提示しました。あわせて、推進プロジェクトごとにSDGsの17のゴールとの関係を示しました。

本戦略の一つである「水と緑溢れる東京戦略」では、その実現に向けて、「緑溢れる東京プロジェクト」を推進し、東京都のほか、区市町村や民間事業者が連携して、あらゆる機会を



通じて緑の量的な底上げと質の向上を図り、都内全域で緑を増やす取組を進めてきました。